



経済構造の転換

令和8年3月23日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

新たな生産性と効率性への移行はデジタル経済への転換の現実であり、それらがより高い利益性への移行を与え、それら資本力における新たな経済構造への転換が現実において存在するものである。

これらは今日既存手工業社会が、自動化という新たな生産、経済システムへの転換を模索するものであり、これらがデジタル経済への移行の真実であると考えることができるのである。

これらは企業における DX 化などは、その基盤にすぎないものであり、未来における企業や経済の現実には飛躍的な変化を約束されるものであることは理解できると考える。

これら新たな企業システムの育成は、自動化と高い生産性、効率性におけるコスト効率性の飛躍的な向上と新たな市場価格への転換という今日のインフレスパイラルなどにおける市場の現実、経済の構造を根本的に変化させるものなのである。

これらはすべての時代においてその必要性が価値を決定することにおいて、経済の重要性はその価値を拡大させ、自己の新たなプレゼンスを現実において与えることは正しいのである。これらは資本主義という現実が新たなステージへ移行するものであり、それらは資本力という現実が与える新たな世界なのである。

企業はこれら変化に対してもその生き残りを要求されるものであり、新たな現実とルールにおける企業経営の実現は不可避の選択なのである。

これら変化に対して政治はいまだその理解が希薄である。先端産業が有する知的進歩性は、時代性における生産性などの向上とともに、経済の本質的な転換を与えるものなのである。

これらは明らかに新たな世界への転換を世界が模索することを経済がけん引するものであり、それらが未来という現実の創造を自由主義経済システムにおいて行うものであることは留意されるべきかもしれない。